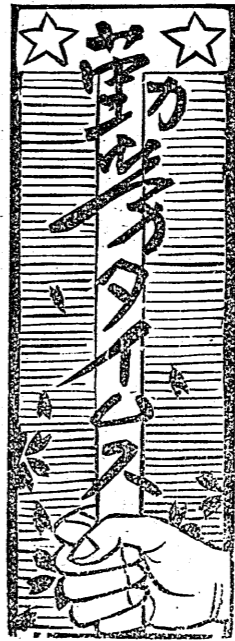


旬刊



年頭

の 辭

一月一日 木村安次

歳暮まると共に心新たなるを常とするは今に初まつたことでない、日本人と生れて日本に暮して来た人の常であつた事は言ふまでもないことである。然し本年こそは眞の心の改まる年でないかと思ふ、なせならば我方の力及ばずして遂に敗戦國となつたのである、即ち文明その他の方面に於て遅れてゐることは些の差でない。これ明らかなる事實となつた、これ即ち井の中の蛙のそれであつたことを自確しなければならぬのである。井の中の蛙、大海に入つて彼の米國の如く、すべからく民主化して行かなければならぬと思ふ、吾人もアメリカ人の如く明かに、自由に、生活も、経済も商賈も、教育も、彼の軍人でさうも髪を伸ばし一般民と異なるどころなく、日常を過して行くことを文明國のそれである。その點眞に痛憾する次第である。ここに於て凡ゆる窮屈を排除し、民主的趣味深く生きて行くこそ、意義ある心革まるであらう。そして聯合國側の氣を捕へ、宜敷この新春から意義深き敗戦國の立場を明らかにして、彼れに疑ひを受けず、有意義に再健日本の礎を確立して行くことに、各位と共に誓つて進んで行くことを希望して新年の御挨拶にかへる次第であります。

毎月一回一日一五日發行 定価 一月十五錢 三月四十錢 半年六十錢 一年九十錢 廣告 一行五十錢 場所指定三十錢増 福島縣平市大町八番地 編輯兼發行人 木村安次 行印刷人 木村安次

宮内省が

皇宮衛士召集

終戦後宮内省に設けられた禁衛府皇宮衛士總隊は要員の不足から復員者の一部の志願者を充當採用してゐたが、禁衛府では須地大長が過日來より新衛士募集のため關東地方各都縣の中で

文書による

選挙運動制限

新衆議院議員選挙法による取締規則は十二月十七日公布されたが、未だ一般に改正趣旨が周知徹底されず特に文書に依る選挙運動の制限につき疑義の問合せが多いので内務省で先月廿一日文書に依る選挙運動制限早わかりを發表した

一月三日に新皇宮衛士の召集を行ふが 衛士は満十七才より十九才未滿の青年で全國各都府縣地方長官が推薦するものうちより選抜して二ヶ年禁關の大臣を果すのであり、將來は有志者には衛士監になる道も開かれるはずで本月十二日三日前先づ一千名の新衛士が戸山ヶ原の舊東部第四部隊跡の教習所に入所の豫定である、従つて現在の衛士は四月以降解任歸郷することになる筈である。

貼札は大きき枚數に記載事項の制限はない

貼札は大きき枚數に記載事項の制限はない (一)認められるもの (二)右の認められるもの (三)以外の貼札即ち立候補の告知政見發表等の貼札 (二)選挙事務所又は演説会場を標示する以外の立札看板の類、即ち演説會告知、立候補告知、政見發表等の立札、看板の類 (三)其の他同上「認められるもの」以外の文書の類

延七億を動員して

失業救済に土木工事

食糧問題及び失業問題は戦終日本の當面する重大緊急課題であるが内務省では昭和三十四年度以降四ヶ年計畫として河川並に土木に算する緊急土木事業を実施することとなり客年末の閣議においてその実施要領に關する諒解を得た、終戦後の失業者は昨年十一月末現在におけるが其後ますます増加の傾向を辿り今昭和三十四年度中には一千數百萬に達するものと見られてゐるが之に對し内務省の計畫によれば河川工事によつて、

昭和三十四年度三萬一千七百六十四石、全二十一年度百四十八萬一千六百四十四石、全二十二年度百五十九萬九千四百六十石、全二十三年度百五十五萬八千六百三十三石、總計四百五十三萬九百二十石

俸給生活者の給與改善

臨時物價手當を創設

政府は終戦後に於ける諸物の昂騰に伴ひ俸給生活者の生活確保に對處する爲め政府職員及初め會社員及び事務者給與につきこれが根本的措置として過日の閣議に於て大藏大臣より之が實施につき諒解を求めた後、情報局より發表昨十二月より實施することになった、然して今回の措置は主として最も生活困難を感じつゝある下級者の生活困難緩和を以てしたもので要旨左の如し

Table with 2 columns: 支部分部 (Department) and 人員 (Personnel). Rows include 縣鐵工組合結成 (County Railway Workers Association Formation) and 支部分部 (Department) with various roles like 支部長 (Department Head) and 支部分部長 (Branch Head).

### 低物價の南かばふと

動かぬ者は食ふべからず

ソ聯治下の南樺太は早くも暴風雪の季節に入り在留邦人卅餘萬の生活についても非常に寒せられてゐるが、このほど現地から歸つた大泊町長會澤武夫氏によつて其の後の島民生活状況が明らかにされた、同氏は不日上京して内、外兩省へ實情を報告する一方樺太協會其他を訪問することとなつてゐる。

樺太其の後は全く平靜に復し食糧も大泊では主食二合三勺の配給だが、労働者には四合三勺の増配がある、町立病院なども收容者は無料で大いに恵まれてゐる味増醬油は大泊で全島の五割を生産してゐる關係からいつてもあり餘つてを豊原、豊香方面からも買ひ出しに來てゐる實情だ。

物價は内地よりお話しならぬ程の安價で主食の米も四斗一俵廿五圓で手に入る酒も一升二十圓も出せば飲める、絹布の素晴らしい夜具が一組二百圓も安く、齒刷牙も廿五錢も出せば買へると云ふ調子で一旦北海道へ歸つた人も内地が餘りにもひどい食糧事情に驚いて再び樺太へ戻る人が多く大泊町だけでもすでに二百名にも達してゐる、最初は資金が拂出されたといふこ

### 主食に變る貯金

昨年十一月の國民貯蓄

本縣の昨年十一月分の國民貯蓄額は増強運動などが續の世の中で何とかして生き残つて行かうと汗を流して貯蓄の質が良くなり數が増して來た者の中に犯罪人を出來金刑位にする必要がある、縣民の一ヶ月消費費は一人百八十圓として約十五萬圓を必要としこのまゝでゆく

### 警察官の素質向上

と待遇改善を計れ

一國の平和繁榮は巡査に負葉で云へば能率指導して行ふところが多し、巡査が無く様なきことにはならぬ現況からいへば秩序も保たれず在の文官を半減しても今日の平和も維持されず、繁榮もよもよもよとよい國民生活を導けられないのである、官吏警備も出て來ると信ずる中で國民の生活に直接好影響するのである、故に警察官は最も多く持つて居るものを人々を促へることでなしに犯罪を犯すのを止むべきである、其の警察官が自ら出た官中比較的地位が低い分官内から犯人を出したものが、思はれて居るやうな警察官は立身出世が、今日の大義に義務教育も組にする案であつた今日はどうでもよいと云ふ利己主義の秩序も保たれて行くのは偏を行費して居るために立身出世をせよと云ふ利己主義の警察官の質を良くし待遇を製造して行く警察官も無

### 閑話

城山某老人

警察官の數を増しその質を良くせよと云ふのが國民生活の毒だと云つて六十幾つのお爺さん冷たいデッキの柱に信じて居るものであります

### 調味料の味増が欠乏

原料入手難で手をやく

味増が原料不足其の他から品不足の危機に直面した、即ち縣味増統制組合の調査によれば昨年十月末現在縣内の保有量中熟製品は約四十萬貫で目減り等を考慮すれば四十萬貫を割る状況、縣民の一ヶ月消費費は一人百八十圓として約十五萬圓を必要としこのまゝでゆく

### 磐城自動車工業株式會社

大内昌吉

本社 平市正月町十九番地 電話 四九〇番 自宅 平市立町一番地 電話 三七〇番

### 白鵝

月刊 書道誌 白鵝 競書會員募集 見本十錢切手五枚封入 平市南町三〇 白鵝書道會 主幹 佐々木秋峯